

八幡平いにしえの宝

(市内にある指定文化財を紹介します)



あら や いち り づか 荒屋一里塚

- ◆所在地 清水154番地2
- ◆指定年月日 昭和48年2月19日



まがた いち り づか 曲田一里塚

- ◆所在地 曲田427番地
- ◆指定年月日 昭和48年2月19日



な しろ ざわ いち り づか 苗代沢一里塚

- ◆所在地 姥子石259番地3
- ◆指定年月日 昭和48年2月19日

荒屋一里塚は、荒屋新町の街から隠れるように木漏れ日の中にあります。山の斜面に鹿角街道が通っていたことから地形を巧みに利用して、左右の塚の大きさが違い、両塚間の道幅も他の一里塚よりも狭く築かれています。今回も高山彦九郎の「北行日記」(注1)から、一里塚のある村の様子を紹介します。

「冬十月朔日 快晴也。稗飯を出だす、食後濁酒をまた出だせり。田山宿を立ちぬ。(中略)山を越へて名白澤村也(苗代沢村)。大道半里越え戸とて家二軒有り是より坂を上る、是を梨木峠といふ。下りて曲田村、橋を渡りて小坂を経て新町(荒屋新町)家六十軒斗り田山より巽大道二里半也。梨木峠よりあなたは鹿角郡此方は二ノ戸郡と称す。酒造に休む。(中略)」

先月号で紹介した「留の沢・七時雨一里塚」、今回の「荒屋・曲田・苗代沢一里塚」と市内には5カ所連続して現存しています。県内はもちろんのこと東北でも珍しい史跡群を先人たちは私たちに伝えていきます。

(注1) 寛政2年(1790)旧暦10月1日、文中から酒と和歌を好んでいることが分かる

※盛岡藩では、42町をもって1里としているが、幕府や他藩は36町としている。しかし正確な町の距離は不明。

《参考文献》鹿角街道(歴史の道調査報告書岩手県教育委員会)、北行日記、安代町史上巻

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

企業広告スペース

※広報はちまんたい11月4日号(No.115)の印刷経費は1部47.25円(税込み)です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載【本号】については、(株)岩手広告社(☎019-623-3777)まで。



古紙を配合した再生紙を使用しています